

■講師プロフィール

古城 春樹（こじょう はるき） 下関市立歴史博物館 館長補佐(下関市立東行記念館長)
1968年下関市生まれ。1991年島根大学 法文学部法学科卒。民間企業勤務ののち、1993年下関市入庁。1999年より下関市立長府博物館勤務。2011年より同館長「三吉慎蔵と坂本龍馬」「海港都市下関」「長州と薩摩」などの特別展を企画開催。

【著書・論文等】共著 『山口県の不思議事典』（新人物往来社 2007）
『長府藩士三吉慎蔵 坂本龍馬非護衛説について』
（九州文化図録撰書9 長州維新の道〔上〕のぶ工房 2011）など
単著 『龍馬とお龍の下関一海峡に遺した夢のあと』（瞬報社 2009）など

■発表者プロフィール

網屋 喜行（あみや よしゆき） 鹿児島県立短期大学 名誉教授（「吉田」本家の末裔）
1936年(昭和11)1月6日京都市で出生。1959年(昭和34)3月早稲田大学第一法学部卒業。
1962年(昭和37)3月早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了。
最近の論文 2008年(平成19)「象徴の設計」と「2・26事件」における、松本清張の
「上官命令絶対服従制度」に関する考察（松本清張記念館）
2015年(平成27)「明治維新の変革と「吉田東洋」一族の生き方
—「本家」孝継と「分家」正春の場合—（「現代龍馬学会紀要」第6号）

竹内 土佐郎（たけうち とさお） 現代龍馬学会 理事

1944年高知県安田町生まれ。大東文化大学文学部卒書道専攻。
松井如流、安岡寧水に師事、青山杉雨、桑原翠邦の益を受く。
元県立高等学校長。 書宗院客員。 平心会代表。 高知県柔道協会副会長（講道館柔道6段）。

今井 章博（いまい あきひろ） 土佐史談会 会員

1955年高知市生まれ。関西大学経済学部卒。
2008年から2012年まで、高知市立自由民権記念館勤務。
【主な論文】2012年 「後藤象二郎と開成館～新出資料を巡って」『自由民権記念館紀要』
2013年 「昭和12年享樂の終焉 南国土佐大博覧会～盧溝橋事件」『土佐史談』
2014年 「薩摩藩の萬次郎招聘について」『土佐史談』

宮川 禎一（みやかわ ていいち） 京都国立博物館 学芸部 列品管理室長

京都在住。大分県生まれ。京都大学大学院修士課程修了。東アジア考古学専攻。特に韓国統一新羅時代の陶質土器が専門。著書に『龍馬を読む愉しさ』2003年臨川書店など。
第3回現代龍馬学会では「慶応元年九月九日、龍馬は手紙をどう書いたのか？」を発表（紀要第三号に収録）。

川崎 弘佳（かわさき ひろか） 高知市立一ツ橋小学校 校長

高知市生まれ。広告代理店、NHK高知放送局アシスタントアナウンサーを経て教職につく。現在、高知市立一ツ橋小学校校長。学校教育の中で坂本龍馬のカリキュラム作成・教材化を目指す。
高知大学大学院修士課程修了 教育学修士 現代龍馬学会理事

前田 由紀枝（まえだ ゆきえ） 高知県立坂本龍馬記念館 学芸課長

1958年高知市生まれ。神戸学院女子短期大学文芸科、佛教大学文学部人文学科日本史コース卒業。
朝日新聞高知支局勤務、公立中学校教員を経て2004年より現職。担当企画展「亀山社中と海援隊」展、「坂本直行」展、「樋口真吉」展、「風になった龍馬」展(アメリカフォーラム共)、「龍馬と加尾と収二郎」展、「坂本直道」展、「坂本家・家族の絆」展、「海を渡った“龍馬”たち」展など。